


●ガバナー 佐々木 千佳子 ● 会長 米内 安芸 ● 幹事 吉田 賢治 ● コミュニケーション委員長 大橋 央雅

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 第 2048 回 例会 記 録

《ロータリー理解推進及びポールハリス追悼例会》

2018 年 1 月 25 日 (木)

点 鐘 12：30

レポ ー ト No. 1480

## 四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



久保田職業奉仕委員長

## 《会長要件》米内会長



最初にご報告があります。黒田先生がこの 22 日に八戸警察署から協力者の感謝状を贈呈されました。おめでとうございます。

寒い日が続いています、今日の新聞でも大きく紙面を割っていた相撲部屋の傷害事件ですが、気になる所があったのでその話を少しします。こういう事件が起きるたびに通常では暴力沙汰がおきない仕組みを作ろうしているようです。私的にはその対応は少し間違っているように感じます。組織や仕組みの問題ではなく暴力沙汰を起こした本人の心を治すことに力を注ぐべきではないのかと思います。暴力を肯定することでは決してないのですが、極限のスポーツとされる大相撲の鍛錬に言葉は役に立たないこともあると思います、怒られることを承知で言いますとケガをしないように殴ることが出来ないことを問題にすべきだと思います、私が若いときに、私には子供がいないものですから、学校の先生から子供がいない人が誰かに拳骨をくれるときは十分注意しなければだめだと注意を受けたことがあります。拳骨をゴンとやるときの力の加減が子供がいる人は子供に拳骨をくれたことがあるからよくわかっているけれど、子供がいないとその力の加減が分からないので注意しなさいとのことでした。親が子供を叱って叩くときの加減が愛情でもあると思います。

先だって読ませていただいたロボット博士で著名な森 正弘という人が書いた本の中で八戸の第三中のことに触れています。荒れた中学校でカッターナイフを使わせるくだりが書かれております。普通は校則でナイフやカッターを持たせなくするところですが、第三中ではカッターを使用する指導して、結果ロボコンで全国に知られるようになり、荒れることも無くなったとありました。この事は我々に大事なことを教えてくれます、様々な物事を決めるときに何が肝心でどこが要かなど示唆が深いと思いました。今日の新聞から様々なことを考えたところです。

今週は 1947 年 1 月 27 日に亡くなったロータリー

## 《出席報告》田守副委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 25 名。出席率は 71% です。前々回の例会は、新年互礼例会でした。

の創始者ポールハリスの追悼例会です。昭和 22 年ですので戦後に亡くなっていたわけで、意外に思いました。ロータリー理解推進の週でもあり黒田先生には 11 月にお話をいただき、長嶺直前ガバナーには 2 月に講話をいただく予定です。ロータリーの事を話していただくには近藤さん亡き後、石橋さんに卓話を頂戴するしかないと思いました。よろしく願いいたします。

## 《本人誕生日》



田守会員

## 《幹事報告》吉田賢治幹事

- ・ 2 月 11 日のボウリング家族例会の出欠を取っていますが、ご家族の皆様への追加を受け付けています。参加希望がありましたらご連絡ください。
- ・ 例会変更のお知らせ、八戸東 RC 2 月 9 日 (金) 時間変更、八戸北 RC 2 月 27 日 (火) 時間変更、八戸中央 RC 2 月 12 日 (月) 祝日につき休会、メーキャップ不可
- ・ ザ・ロータリアン誌が届いています。
- ・ オクトンからラインスタンプリリースのお知らせが届いています。



## 《ニコニコボックス》西尾委員長

米内会長：石橋さん、どうぞよろしく願いいたします。

黒田会員：感謝状いただきました。ありがとうございます

いました。

西村会員：石橋さんのお話を今後に役立てたいと思います。

本人誕生日：田守会員



#### 《会員卓話》石橋会員



理解推進ということですが、うちのクラブも新しい会員が多くなり昔のことを知らない会員も増えていきますので過去の例会とかそういうことを踏まえてお話ししたいと思います。

最初に私がロータリーに入ったきっかけというかなぜロータリーに入ったかということをお話しします。学校を出て松下電器に入社しました。今のパナソニックですけれども、私が入ったときには松下幸之助さんは会長になっていましたが、会長がロータリアンでした。私たちも立派になるためには、世の中に奉仕するにはロータリーに入るのが良いのではないかとその時に思いました。その後金沢に転勤になり2年後には石川ナショナル販売という所に出向になりましたが、そこの社長さんもロータリアンで金沢で立派に仕事をされている方で、面倒を見ていただきました。ロータリーというのはそんなもんなんだとロータリーに対する認識をわきまえました。5年たって会社を辞めて独立しました。2、3年後にJCに入り10年たちJCを卒業しましたが、少し間をおいてロータリーからお誘いがあり橋本昭一さんに相談に行きどこへ入ったらいいですかと伺ったところ、うちの弟の精二が南に入っているから、弟に言うておくからそこに入れということで、精二さんがスポンサーになって南クラブに入りました。当時クラブにはたくさんの会員がいたので色々なことが出来ました。丁度10周年の時でしたので盛り上がっている時代で、先輩ロータリアン、チャーターメンバーである精二さん、慶徳さん、畠舘さんなんかいろいろと面倒見てもらったから今日の私があるわけでございます。

去年は長嶺さんがガバナーになりましたけれども、その前にうちのクラブから初めて黒田先生がガバナーになられて、その時に近藤さんが幹事長で私と佐々木正雄さんが副幹事長で事務所に詰めていました。地区大会なども去年やられたので皆さん大体の様子はわかっていると思いますがそういうことに協力しました。その後に日韓親善会議というのがありまして、黒田先生が日本の実行委員長を任されてやることになりました。普通は東京とかの大きなところでやるものなんですけど、先生の時は青森で日韓親善会議を開くということでうちのクラブがホストクラブとなって始まったのですが、韓国の委員の方なんかを集めて1回か2回会議をして日韓親善会議を開くことが出来ました。ほとんどうちのクラブがメインでしたから、会場になるホテル青森に何回か出向いて食事のことなど黒田先生とやってきました。日韓親善会議の当日は台風が来ましてソウルから飛行機が着くか着かないかという大変なことになりましたが無事飛行機が着きました。地方で国際会議を開くというのはなかなか大変なことだと思いますが、うちのメンバーは優れた方

がたくさんおりましたので何とかうまく出来ました。その後私がガバナー補佐をやりましたが、これは黒田先生がやった方がいいよということで受けたわけです。ガバナー補佐は長嶺さんもやっておられますがそんなに難しいことはないと思います。主たるものはIMを開催しなければならないのですが、これも南グループのクラブの会員を全部集めてやらなければならないということで非常に勉強になりました。私がガバナー補佐をやっているときに黒田先生が第1ゾーンの理事の指名を受けまして理事エレクトになられ次の年にRIの理事になられました。RIの理事は何をするのかということ、いろんなことがありますが一番大きなメインが第36回のロータリー研究会でした。今日出席の中では7、8人くらいしか行っていないので、あとの方は行っていないのでわかりませんが、極端なことを言えば地区大会の大きなものですが、東京のお台場のホテルを貸し切ってやりました。大体700～800人、日本のパストガバナー、ガバナー、エレクト、RIの会長、ロータリー財団の事務局長などいろんな方を御呼びしてやるわけで、非常に気疲れしました。なんせ東京でやるので勝手が違うわけです。皆さんに行ってもらったのですが、その時は三浦晃さんがクラブ会長で皆さんには新橋のホテルからお台場まで通っていただいて2日間の行事を済ませました。この時にRIの会長が来ますのでいろいろと気を使います。エイドの方々もいらっしゃいますし、RIの直前会長の韓国の方とかRI会長エレクトとか、黒田先生の同期のRIの理事、韓国とイギリスからきているご夫妻の案内とかもあり大変でした。その時にお茶の席を作るのですが京都の千玄室さん、裏千家の皆さんにお願いしてお茶をたてたりしました。日韓親善会議でも、ロータリー研究会でも上手にできたという語弊がありますが、田舎のロータリアンにうまく出来るかなと思いましたがうちのクラブの久保田さんがそういうものに長けており安い金額でいろいろとやっていただきました。同時通訳のレシーバーなども苦労しましたが久保田さんの力が大したものだと感じたところです。ロータリー研究会はお台場のホテルでやりましたがうちのクラブの豊川さん、中央クラブの坂間さんというホテルマンにお手伝いしていただいたので会場の中はうまく出来たと思います。皆さん偉い方ばかりなのでとても気をつかいました。

私は黒田先生にいろいろとご指導を受けましてあちこちの地区大会に連れて行っていただきました。私が会長の時には神戸の地区大会、その後は岡山の地区大会、ソウルの地区大会、最近では京都の地区大会と各地の地区大会について回っていますが、この地区の地区大会に比べて規模が大きく非常に勉強になりました。ソウルの地区大会ではイベントとしてオペラを1時間近くやりました。国際大会ではカナダのモントリオールに行ったときに、歌謡ショーのようなものを1時間以上やっていたよかったです。去年のアトランタはそういう点で物足りなかったと思っています。

黒田先生はじめ、近藤さん、慶徳さん、精二さんなどに非常にお世話になって今の私があると思っています。黒田先生は毎年のようにRI会長代理として

どこかの地区大会に行きます。今年度は秋田だったので私はついていかなかったのですが、遠い方に行くときにはついて行って勉強してくるということが私にとっての勉強です。皆さんも機会があったら先生にお願いしてついていったらいいのではないかと考えています。

私はこのクラブではそんなに役に立ってはおりません。せいぜい役に立っているのは出席 100%、財団のマルチプルポールハリスフェロー、米山功労者マルチなどですが、その辺で勘弁していただきたいと思っています。皆様方も機会がありましたら色々な所へ出向いて勉強なさったらいいのではと思います。以前私がアンケートを取ったときにうちのクラブで地区大会に出たことがない方が結構いらっしや

いました。IM にも出たことがない方がいますが、高い会費を払っているのにもったいないと思います。昔はロータリーに入るメリットとして弁護士さんと仲良く出来る、お医者さんと仲良く出来るとか言われたことがあります。当然そういうこともありますがそれ以上にいろんな方に接して成長なさった方がいいと思います。私のような年寄りが半分以上になっていて、若い人とのコミュニケーションがあまりない人が多いようですが私はこの通り若い人に色々なことをずけずけと言いますがその辺はご容赦いただいて面倒見てください、ゴルフでもスキーでも行きたい方がいれば一緒に連れて行っていただきたいと思っています。